

優良図書 ~子どもの心へ届けたい本~

1 幼児以上対象

かいぶつのとしょかん

うさぎのうさぎが窓から見えた足跡を辿っていくと、かいぶつのはっぱに乗ったちびくんがおいでおいでをしている。着いたのは「かいぶつのとしょかん」。だれでも好きな本が借りられる、かいぶつ自慢の図書館だ。この図書館では、本の中の住人が、出たり入ったりして遊んでいる。本から飛び出した住人たちが退屈したてたいへん! さあ、ちびくん、うさぎの出番だ!
ふくいりえ / 文・絵
大日本図書 1,300円 (税別)



きょうも うれしい

朝ごはんを用意する音、クラスでお休みの人がいなかったこと、ママに抱っこしてもらった帰り道、部屋いっぱい並べた色々な石…男の子の一日にあふれる、たくさんの「うれしい」を描いた絵本。

えがしらみちこ / 作・絵
理論社 1,450円 (税別)



きらい きらい!

にんじん、おさかな、おにく、たまねぎなど、「苦手」は子どもにとって重大問題。でも、大きくなっておとなになったら食べられるかな。苦手がある子どもたちを優しく、大らかに応援する絵本。

武田美穂 / 作・絵
童心社 1,300円 (税別)



心ってどこにあるのでしょうか?

目に見えない心。心は一体どこにあるのだろう。動物や子どもたちが、心のありかを自らの経験から想像する。心のとらえ方は人それぞれであることを知り、心とは一つではなく体の様々な場所にあることに気づく。

こんのひとみ / 作・いもとようこ / 絵
金の星社 1,400円 (税別)



しゅつどう! しょうぼうたい

レスキュー隊員であるお父さんの1日を紹介した作品。訓練中の風景や災害現場における救出作業といった仕事の一場面のほか、消防署や消防車の構造、レスキューに使用する工具などの関連情報が精緻なイラストと共に解説されている絵本。

鎌田歩 / 作・絵
金の星社 1,300円 (税別)



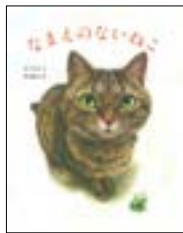
たたかう ゴーやくマン

くすりの国の妖精 ゴーやくマンとその仲間たちのものがたり
みなとくんは公園で遊んだ後、手洗いとうがいを忘れたことでインフルエンザにかかってしまう。40度の高熱で、吐き気がして水も飲めない。そこで「ゴーやくマン」(座薬)が登場。体中を巡って「はっけっきゅうくん」(白血球)や「マクロファジくん」(白血球の一種であるマクロファージ)などと協力しながら、ウイルスを退治する。
なかきたひでき / 作・絵
銀の鈴社 1,500円 (税別)



なまえのないねこ

ノラネコのほくは、名前をつけてもらったことがない。「こねこ」でも「ねこ」でもない名前がほしいなどぶらぶら町あるき。くつやの「レオ・ほんやの「げんた」・やおやの「チビ」。みんな名前もっている。きれいな薄緑色の瞳でうらやましそうに「ほく」は名前を持っている者たちを陰からそっと見ていたら、悲しい気持ちになってきてしまっ…。
竹下文子 / 文・町田尚子 / 絵
小峰書店 1,500円 (税別)



はっぱのゆうびんやさん

郵便局長のチョウチョさんは、あおむしのイッチくんには、はっぱのはがきの配達をたのむことに。イッチくんは、サルさん、クマさん、カエルさんに配達途中ではっぱをちよっぴりかじったら、はがきに書いてある文字が違う文字になってしまい…。

高田桂子 / 文・みやもとただお / 絵
文研出版 1,300円 (税別)



ぼくはレモネードやさん

毎年2000人~2500人の子どもがかかる「小児がん」。その小児がんを3才で発症した著者が自らの経験を踏まえて書いた絵本。絵も一人で描いている。入院中の治療のこと、レモネードスタンドを開いた理由、うれしかったこと、今も病院に通っていること、小児がんになったほかの子たちのこと。小児がんについて知ってもらうための様々なことが書かれた絵本。
えいしましろう / 文・絵
生活の医療社 1,500円 (税別)



ぼっとなんころろ どんぐり

四季の移ろいとともに変化する、くぬぎの木とどんぐりの姿を描いた絵本。幹や枝だけの冬、黄色の花に覆われた春、緑の葉に包まれ、どんぐりが秋に向けて準備する夏、そしてたくさんのどんぐりが実る秋。くぬぎのほかにも、まてばしい、みずなど様々などんぐりが紹介されている。また、昔は人間もどんぐりを食べていたことやどんぐりを食べる動物、どんぐりを使ったクッキーの作り方や遊びなども紹介されている。
いわずやうこ / 作
童心社 1,100円 (税別)



森のゲオルグ

ふかい森の奥にはゲオルグという名前の妖精の子どもがすんでいた。妖精の子どもは6歳になると学校に通い始める。ひときわ小さなゲオルグも妖精学校が大好き。妖精の子どもは7歳になると小さな羽が生えてくるが、ゲオルグの背中には羽が生えてこなかった。遠足の日、飛べないゲオルグはお父さんに読んでもらった本で覚えた虫の言葉を使って…。
ノースミー / 作・絵
出版ワークス 1,800円 (税別)



幼児以上対象 計11冊

2 小学校低学年以上対象

おじいさんは川へ おばあさんは山へ

現代のおじいさんとおばあさんが昔話のようにそれぞれ山と川へ出かける。お弁当を半分食べたところで誰もが知る昔話の登場人物が次から次へと現れて…。

森山京 / 作・ささめやゆき / 絵
理論社 1,300円 (税別)



おしょうがつのかみさま

今年のかみさまは、おもちのすがた! かみさまを囲んで、おもちをついて、いっぱい食べて、たくさん遊んで、お年玉ももらって、最後はおやすみまた明日! みんなでわいわい、のんびり楽しいお正月絵本。

おくはらゆめ / 文・絵
大日本図書 1,300円 (税別)



かなしみがやってきたら きみは

かなしみは誰のところにでも突然やってくることがある。そんな時はどうしたらいいかわからなくなり、かなしみに押しつぶされそうになる。でも、かなしみと向き合う方法をいろいろためてごらん。だんだんかなしみをこわがらなくても大丈夫だとわかってくるよ。

エヴァ・イーランド / 作・いとうひろみ / 訳
静山社 (ほるぷ出版) 1,500円 (税別)



こくん

退院した「ちさと」は、つばさえんに戻ってきた。先生も友達も心配してくれるけれど、しゅんくんだけは少し違う。ある日、しゅんくんの頑張る姿を見たちさととは、ある決心をする。大丈夫、きっとできる。ちさととは、大きく「こくん」とうなずいて…。

村中李衣 / 作・石川えりこ / 絵
童心社 1,300円 (税別)



タヌキのきょうしつ

昔、広島の小学校にあるクログナモチの木の根本にタヌキが住んでいた。タヌキたちは勉強がしなくなると、夜の教室で授業を始める。教頭先生は見守っていたが、新聞に載ってしまい、タヌキは授業をやめた。やがて戦争が激しくなり、タヌキはいなくなったが、戦後に町が復興すると…。

山下明生 / 作・長谷川義史 / 絵
あかね書房 1,100円 (税別)



なかよしの水

昔、日照り水がなくなり、のどが渇いた動物たちは、ライオンから身を守るためにみんなで歩いて川に行った。しかし川の水をもらうためには、ワニにいけにえを差し出さなければならない。話し合いをするが、大きい動物たちは小さい動物であるノウサギをいけにえにしようとする。いけにえにされては大変とノウサギが逃げ隠れたらあなには、後からパッパローやライオンも逃げてきて…。
ジョン・キラカ / 作・さくまゆみこ / 訳
西村書店 1,500円 (税別)



ピノピノとおひるね① くるくるまき毛

ピノピノはちっちゃくてピュアなくまの男の子。とうさんぐまとかあさんぐまが出かけている間に森を探検しに出かける。世の中のことをまだ知らないピノピノが出会う動物たち、不思議な出来事、危険な場所。それを見守り、フォローするあさんぐまのまなざしが暖かい。
ロベルト・ピウミーニ / 作・アンナ・クルティ / 絵
山本和子 / 翻案
学研プラス 1,000円 (税別)



フウちゃんクウちゃんロウちゃんの ふくろうがっこう

～こわいものであったら のまき～
ふくろうの子どもフウちゃんクウちゃんロウちゃんは立派なふくろうを目指して、学校に通う。「こわいものであったらどうするか」を勉強するため、三羽はかみなりさんと友達になり連れてくるが、ふくろう先生は…。
いとうひろし / 作
徳間書店 1,600円 (税別)



プラスチック惑星・地球

私たち人間が捨てていくプラスチックが地球にあふれようとしている。野生動物を脅かすのは、海や川を漂い岸に打ち上げられたおびただしい量のプラスチックごみだ。とある森に住むサルの親子の視点から、プラスチックがどれだけ彼らの生活に侵食しているかを紹介する。

藤原幸一 / 写真・文
ポプラ社 2,000円 (税別)



ぼく、こわかったんだ

「ぼく、さいきんしぬってことを考えると、すごくこわい。」死ぬことへの不安と恐怖に悩む少年が、母親にその思いをぶつける。そんな少年のもとに、ある日、母親の働く介護施設のおばさんから手紙が届く…。

横須賀香 / 作
BL出版 1,500円 (税別)



ほら、ここにいるよ このちきゅうでくらすためのメモ

作者が、誕生したばかりの息子ハーランドに向けて、彼が生きていく世界について教える本。地球に存在する、陸や海、生きものなどを作者が案内人となり、優しく語り掛けるように伝えていく。

オリヴァー・ジェファーズ / 作・tupera tupera / 訳
静山社 (ほるぷ出版) 1,600円 (税別)



メガネくんとハダシくん

しっかりもののメガネくんと、自由気ままなハダシくんという、性格も価値観も正反対の二匹のクマの日常を描いた物語。春、夏、秋、冬、初春の出来事を通して、正直な気持ちを伝えあいながら、違いを認めつつ絆を深めていく様子が描かれている。

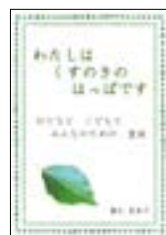
二見正直 / 作
偕成社 1,100円 (税別)



わたしは くすのきの はっぱです

学校の校庭にたつ、くすのきのはっぱの物語。春から次の春まで、くすのきの上から校庭の様子を見つめている。枝からはなれる時が来て、はっぱは「かぜさんかぜさん おねがい。わたしをのせてつれてって。」とかぜさんにねがう。はっぱはかぜさんと一緒にたかたか飛んでいき、スカイツリーや動物園をまわって、くすのきのねもとに戻ってくる。やがて…。

藤石富美子 / 文
星雲社 500円 (税別)



小学校低学年以上対象 計13冊

3 小学校中学年以上対象

うそつきタケちゃん

何度も転校をくり返している元希は、引っ越しの日が近づくと友だちをつくろうとは思っていなかった。4年生の転校先でのクラスメート、タケちゃんはうそつきでお調子者。タケちゃんのおせっかいに最初はしかたなくつき合っていたが、徐々に気持ちが変わりていく。

白矢三恵 / 作・たかおかゆみこ / 絵
文研出版 1,300円 (税別)



映画ってどうやってつくるの？

映画の歴史や製作過程を舞台裏から覗くように解説した絵本。製作過程ごとのスタッフの仕事や、ワイドな見開きページに描く映画の撮影セットのイラストなど、読み終わったときには映画をもっと楽しめる入門ガイド。

フロランス・デュカトー / 文
シャンタル・ベタン / 絵・野坂悦子 / 訳
西村書店 1,800円 (税別)



エベレスト 命・祈り・挑戦

世界一高い山、エベレスト。その山はいつ頃、どのようにしてできたのか。世界中の登山家たちは、どのようにその頂上を目指したのか。その成り立ちから、気候、生息する動植物、人びとの想いをさまざまな視点で探っていく。

サンガマ・フランシス / 文・リスク・フェン / 絵
千葉茂樹 / 訳
徳間書店 2,800円 (税別)



きれいずきのマグスおばさん

マグスおばさんは、とてもきれいずき。今日はスージーと動物園に出かけるのに、あちこちきれいにしはじめたスージー。なかなか動物園に行かない。やっとついても、動物たちをきれいにしたくてしかたがない。ところが、動物たちとふれ合ううちに、マグスおばさんの気持ちは変わっていく。
イーディス・サッチャー・ハード / 文
クレメント・ハード / 絵・小宮由 / 訳
大日本図書 1,400円 (税別)



数字はわたしのことば

ぜったいにあきらめなかった数学者ソフィー・ジェルマン
フランス革命期のパリに、数の世界に魅了されたソフィーという女の子がいた。当時は、女子は勉強なんてしないでよいという時代。それでもソフィーはどうしても数学者になりたいかった。あきらめきれない彼女は、夢を叶えることができるのか。
シェリル・バードー / 文・バーバラ・マクリントック / 絵
福本友美子 / 訳
静山社 (ほるぷ出版) 1,600円 (税別)



巣箱のなかで

ほくは毎年やって来るシジュウカラのために家の周りの木に巣箱を付けている。でも巣箱のなかのシジュウカラの様子がわからない。様子を知りたいほくはいいことを考えた。巣箱を家の窓ガラスに取り付けたのだ。春のある日、シジュウカラが生んだ8つの卵からかえったヒナたちが巣立つまでの20日間の暮らしを描いた本。
鈴木まもる / 作・絵
あかね書房 1,300円 (税別)



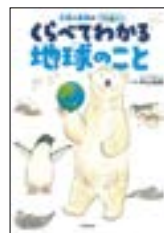
俳句ガール

小学4年生の梅野つむぎは、お母さんのかわりに家事をがんばっている。お母さんは喜んでくれるけれど、他のことが何もできない、好きでやっているわけじゃない。放課後、つむぎは自分の素直な気持ちを俳句にして、黒板に書いてみる。と、次の日の朝、その俳句のとらに、別の誰かの俳句がひとつ。いったい誰か？嫌がらせ？それとも単なる俳句好き？でも、面白い！俳句を通して人とつながり、つむぎの世界は広く豊かになっていく。
堀直子 / 作・高橋由季 / 絵
小峰書店 1,300円 (税別)



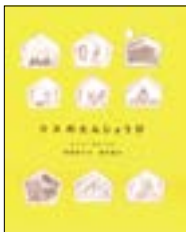
北極と南極の「へえ〜」 くらべてわかる地球のこと

北極と南極についての本。「南極と北極の「へえ〜」」「人の社会と遠くはなれた南極」「人がくらす北極」「南極・北極から見える地球環境の変化」などの章に分かれ、あまり人の立ち入ったことのない極地について知ることができる。南極のアデリーペンギン、北極のホッキョクグマが質問をし、朝日新聞の記者が答える形式になっており、親しみやすい。
中山由美 / 文・写真
学研プラス 1,400円 (税別)



リスのたんじょうび

誕生日に多くの友達を招待したリスに訪れる小さな不安とステキな思い出。来訪者のために家を建て増したカタツムリの思いがけない部屋の活用法。「食べたくない人だけが食べられるケーキ」を食べたくて悩むアリとリス。誰にでも覚えのある、人と人とのかけわりの中で生まれるささやかな楽しみやおかしな矛盾、かけがえない幸せを描き出す短編集。
トーン・テレヘン / 著・野坂悦子 / 訳・植田真 / 画
偕成社 1,400円 (税別)



小学校中学年以上対象 計9冊

4 小学校高学年以上対象

あかいくつ

小学校5年生の春に母を亡くしたハルカは、その年のクリスマスに、母からのプレゼントである手編みのマフラーと赤い靴を受け取った。社会人になったハルカはその赤い靴をはいて、幼なじみの裕太といっしょに横浜散策に出かけたが、そこで不思議な体験をし、マフラーと靴に込められた母の思いを知ることになる。

こまざわまさこ / 文・すえおかえみ / 絵
銀の鈴社 1,000円 (税別)



ガラスの梨 ちいちゃんの戦争

舞台は小学三年生の笑生子(えいこ)が家族と共に暮らす大阪。あたたかく幸せな日々を忍び寄る戦争は、やがて大阪空襲によって大切なものを奪っていく。終戦から立ち上がる笑生子は何を思うのか。著者の母親の体験と綿密な取材をもとに描かれた作品。

越水利江子 / 作・牧野千穂 / 絵
ポプラ社 1,500円 (税別)



キャプテンマークと銭湯と

周斗はサッカークラブチームのキャプテン。小さな頃からずっとエースだったが、中学2年を目前にキャプテンを新入りの大地に奪われてしまう。しっくりいかない周斗はついにメンバーと仲たがいをして孤立。家に帰りたくなくて足を向けたのは、亡くなったじいちゃんとおよく行った銭湯。周斗は練習をさぼって銭湯へ通い、そこで出会う様々な人々と交流を深めていくが…

佐藤いつ子 / 作・佐藤真紀子 / 絵
角川書店 1,300円 (税別)



友だちをやめた二人

七海は小学校5年生。7歳上の姉はしっかり者で頼れるタイプ。1年生の頃からの友だち結衣ちゃんも活発な性格で、思ったことをはっきりと言うところがカッコいいと思っている。そんな二人に比べて自分に少し自信が持てない。おばあちゃんは「人は一人一人みんなちがって、それぞれがいろんないいところを持っているのよ。」と言ってくれるが…

今井福子 / 作・いつか / 絵
文研出版 1,400円 (税別)



願いごとの樹

「楽観のおせっかい」を信条とする樹齢216年のレッドオークが語る物語。レッドと呼ばれるこの樹には、毎年5月1日に人々が願い事を枝に結び付けるという風習があり、一人の移民の少女が結び付けた願い事からレッドはある行動を起こす決意をする。

キャサリン・アップルゲイト / 作・尾高薫 / 訳
偕成社 1,500円 (税別)



ふたりのおかあさん

みらいちゃんの5歳のお誕生日。去年ちひろママにももらったワンピースを着て幼稚園へ行く。自分にはおかあさんが2人いるのに、みんなには1人と気づいてびっくり。お誕生会の時に、ちひろママからのワンピースのプレゼントも届き、自分には大切なひとがたくさんいる事を実感し、幸せな気持ちになる。

鎌倉女子大学「家族のつながり」ゼミナール / 作・絵
ちとせプレス 1,800円 (税別)



よろしくパンダ広告社

本田パンダは、パンダ広告会社のコピーライター。先輩の退職で、五年目にしてはじめてひとりで任された仕事はなんとランドセルのテレビCM。みんなを元気にしたり、気持ちをつないだりできる、魔法の力をもった言葉と格闘する物語。

間部香代 / 作・三木謙次 / 絵
学研プラス 1,400円 (税別)



ラグビーが教えてくれること

ラグビーに関わるすべての人にとってプレーの基準となる大切な5つの言葉、「ラグビー憲章」にある「品位、情熱、結束、規律、尊重」をテーマに、著者はそれぞれの言葉にまつわる体験を語る。ラグビーワールドカップ2019で日本代表として活躍したリーチ マイケル、流大、姫野和樹の3選手の話も登場し、歴史も交えた具体的な語りでラグビーの魅力を伝える。

村上晃一 / 著
あかね書房 1,300円 (税別)



わたしは女の子だから

世界を変える夢をあきらめない子どもたち
「女の子だから」受ける差別と、困難な状況でも未来に向かって力強く生きる世界中の8人の女の子の物語。女の子たち自身による、性差別をなくすための取り組みも併せて紹介し、今の自分にできることは何か、考えさせられる作品。

ローズマリー・マカーニー 他 / 文・西田佳子 / 訳
西村書店 2,300円 (税別)



小学校高学年以上対象 計9冊

5 中学生以上対象

ゴースト

ゴーストが今までで一番速く走ったのは、アルコール中毒の父から母と自分に発砲され、命からがら逃げた時。スラム街に住みダボダボの服を着て、母が切ったガタガタの髪、そしていじめてくる同級生。叫びたい心を抱えたゴーストが出会ったのは、陸上のクラブチームの監督。最初はただのかけっこと思っていたのだが…。

ジェイソン・レノルズ / 作・ないとうふみこ / 訳
小峰書店 1,500円 (税別)



しずかな魔女

草子は学校に行けなくなった中学生。不安な気持ちを抱えたまま図書館に通うようになるが、ようやく見つけたこの場所でも彼女は傷つくことになる。そんな草子に司書の深津がそっと手渡したメッセージはやがて物語へと変わっていく。小さな奇跡を起こす魔法の言葉の物語。

市川朔久子 / 作・平澤朋子 / 絵
岩崎書店 1,300円 (税別)



徳治郎とボク

主人公であるケンイチの祖父・徳治郎はひと癖ある頑固者。周囲は手を焼いているけれど、祖父の「ちっせえとき」の話や聞くたびに、ケンイチは祖父のことを好きになっていく。横須賀市浦賀を舞台に、主人公の成長と共に変化していくものごとを、自然や歴史の描写を織り交ぜながら綴った物語。

花形みつる / 著
理論社 1,400円 (税別)



飛ぶための百歩

14歳の少年ルーチョは、5歳で視力を失ったが、「もう子供じゃない」という思いから素直に人の助けを受け入れられなくなっていた。おばのヘアとの登山の中で、少女キアラや、ワシの親子と出会い、周囲への思いが変わっていく。

ジュゼッペ・フェスタ / 作・杉本あり / 訳
岩崎書店 1,400円 (税別)



トリガー

他人に深くかわかることを避けてきた中学生の音羽(とわ)は、自分の日常を守るため、親友が悩んでいることに気が付かないふりをしてきた。親友の家出をきっかけに、過去の苦い経験を繰り返さないため親友と正面から向き合うことを決める音羽。生と死の狭間で揺れる親友を繋ぎとめることはできるのか。

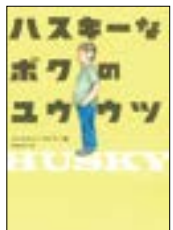
いとうみく / 著
ポプラ社 1,400円 (税別)



ハスキーなボクのユウウツ

「ハスキー」は太った子どもを気づかって呼ぶ言い方で、がっかりしているという意味。「ハスキー」が自分のキャラになってしまうのがイヤなデーヴィスは、最近ユウウツなことばかり。けれども新学期にむかって、デーヴィスをとりまく環境は少しずつ変わっていく。

ジャスティン・セイヤー / 著・海後礼子 / 訳
岩崎書店 1,600円 (税別)



瓶に入れた手紙

イスラエルに暮らす少女、タル。近所で起こった自爆テロをきっかけにあることを思いつく。パレスチナに、手紙を送ろう！瓶に入れた手紙はガザ地区の海で青年に拾われる。ふたりを隔てるのは、長年にわたるイスラエルとパレスチナの問題。タルと青年は手紙を通じて未来への「希望」を見出していく。

ヴァレリー・ゼナッティ / 作・伏見操 / 訳
文研出版 1,500円 (税別)



ぼくにだけ見えるジェシカ

ファッションに興味がある少年フランシスは幽霊の少女ジェシカと出会う。意気投合した二人は友人に。更にジェシカを見て会話することができる人物が2人現れ、4人は仲良しグループになる。その後3人の意外な共通点とジェシカの死因が判明し、同時に自分の使命も思い出したジェシカは行動を起こす。

アンドリュー・ノリス / 作・橋本恵 / 訳
徳間書店 1,500円 (税別)



まどろむ、わたしたち

「なぜは 湿度を おびつつあって 場面転換の たいごが はげしく うちならされている (ティー・セレモニーより)」
日常の何気ない風景に物語を織り交ぜ、8つの表題別に詩が収録されている。巻末の「NOTES」が、詩の理解を助ける。

白鳥博康 / 文・もとやまさこ / 絵
銀の鈴社 3,000円 (税別)



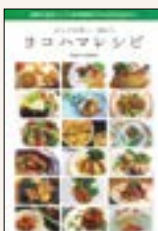
中学生以上対象 計9冊

6 保護者・指導者対象

からだを思い、味わう ヨコハマレシピ

「てんぷら天吉」、「崎陽軒本店」、「ホテルニューグランド」など横浜の名店と市民病院のコラボから生まれた本。体に優しく美味しい、家庭で作れる料理のレシピ36品を紹介。各レシピには、栄養士が食材の栄養量などを記したページも付属。

横浜市立市民病院 / 著
神奈川新聞社 1,700円 (税別)



保護者・指導者対象 計1冊

令和2年1月24日推薦優良図書 計52点

神奈川県児童福祉審議会では、青少年の皆さんに読んでいただきたい本の推薦を行っています。
(令和2年1月24日推薦)

心の成長期にある青少年が優良な図書に触れることは、とても大切なことです。
青少年に勧めていただく際の参考としてご活用ください。

神奈川県児童福祉審議会の審議にあたり、神奈川県読書推進会には情報提供をお願いし、県立図書館には予備調査を実施していただくなど、ご協力いただきました。

問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部青少年課地域環境グループ TEL.045-210-3848
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t7e/cnt/f4151/p12556.html>

令和2年3月発行